

営業スキル向上勉強会(#1)

2016年9月12日

書籍タイトル：結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる

概要：

10秒で行動できなければ、いつまでも行動できない。

しかし、気分が伴わないと人は行動できない。

「気分」と「モチベーション」をコントロールできると、行動力を高めることができる。この書籍では、「10秒で行動する人の思考法」、「10秒でゴールに近づく思考と行動のコツ」など10秒で行動できるようになるためのノウハウがまとめられている。

参考にしたい点、気になる点

1. 「10秒で行動する人は、現在の不安は今解決すればいいことを知っている。」

具体的な方法

まず、「最悪の展開」を想像する

↓

次に、「最高の展開」を想像する

↓

最後に、「挽回策」を想像する

現実的にどうなる可能性が高いのか、何が分岐点になるのか、もしも最初の分岐点で失敗した場合はどんな挽回策があるだろうか、など二の手、三の手も含めたシュミレーションをすると、不安になっているよりも成功をより確実にするのに今何をすべきか、次善策、事後対策を考えていけば、不安は解消されていく。

2. 「やるべきことを俯瞰する10秒間の『視座の転換』」

行動して結果を出す人は、自分の行動だけを仕事だと捉えることはしない。

必ず、関係者全体を俯瞰して、社会的な影響関係の中で、どのように作用するのかを考えて行動する。

そうすることにより、仕事に取り組むだけでは見えてこない「盲点」や、ムリ・ムダ・ムラを発見できる。

具体的な方法

添付PDFを参照

3. 「10秒で気分を変えられる人は人生を変えられる」

気分と視座を変えれば、世界はその姿を変える。世界がどのように姿を現すかは、あなた次第。

あなたが味わう気分とあなたが選ぶ視座が、あなたの一生を決める。

主体的に生きる第一歩は、自分の気分と視座を自分で決めること。

常に気分と視座を自分で決めていけば、あなたの人生はいつでもあなたのもの。

感想

参考にしたい点、気になる点の1.に関して、私は「まず、やってみる」の考えだったが、不安を抱えるようなことには、まず1.のことを実行してみようと感じた。

この書籍を読み、人生を過ごすうえでの考え方なども学ぶことが出来た。